

令和元年度第15回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和2年1月23日(木) 午後4時00分～午後4時50分
2. 会場 教育委員会 教育長室
3. 出席者
- | | | | |
|-------|---------|-------------|-----------|
| 教育長 | 中 峰 寿 彰 | 生涯学習部長 | 鴻 野 弘 志 |
| 職務代理者 | 五十嵐 紀 子 | 朝日地区スポーツ統括監 | 長 南 広 基 |
| 委員 | 馬 場 千 晶 | 文化振興統括監 | 漢 幸 雄 |
| 委員 | 加 藤 洋 之 | 合宿の里統括監 | 三 上 正 洋 |
| 委員 | 山 田 敦 久 | 中央公民館長 | 千 葉 真 奈 美 |
| | | 学校教育課長 | 須 藤 友 章 |
| | | 学校教育課管理監 | 大 留 義 幸 |

4. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

○中峰教育長あいさつ

3学期がスタートし一週間が経過した。冬休み中は特に事故等も発生せず、インフルエンザに罹患した児童生徒もわずかである。

そんな中で残念なニュースだが、朝日中学校で前日に給油した灯油が盗難される事件が発生した。和寒町でも事業所が同様に盗難の被害に遭っており、警察では注意喚起や類似犯防止のため公表した。

日曜日には「学校と子どもと芝居」の企画で「ばあちゃんへの手紙」が公演された。120名を超える観客が見守る中、子どもたちは活き活きと演じており、とても良い公演だった。

8日には新年度予算の市長ヒアリングが行われたが、市財政状況は一層厳しい状況にあり、貯金とも言える基金を充てても7億円ほど不足している。教育委員会からは、国の「GIGAスクール構想」に基づき、5年間で児童生徒一人に一台のパソコンを整備するための予算などを要求している。また、特別支援教育支援員について、増員及び勤務時間の拡大を求めているが、ヒアリングの際の受けとめとしては厳しい状況であったため、再度折衝する予定。

教職員の新年度人事について教育局と協議中だが、異動対象者である管理職はある程度決定してきた。一方で、3月で閉校となる多寄中学校は、全員が異動することになるが、保有免許の教科によって調整が難航しているケースもある。

広島県で開催された都道府県対抗駅伝大会には士別中学校の本間颯くんが出場し、本間君の活躍により区間順位を上げた北海道チームが、過去最高順位を記録した。上士別中学校の工藤夏未さんは、中体連のアルペンスキースラローム部門で6位に入賞し全国大会に駒を進めた。士別翔雲高校の瀬川瑠奈さんは、来月ウズベキスタンで開催されるウエイトリフティング・アジア・ジュニアユース大会に日本代表として出場する。子どもたちの日頃のがんばりが、成果として表れていると実感している。

本日もよろしく願います。

1 議事について

○中峰教育長 進行

議案第35号 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について説明を求める。

○須藤課長

本市で毎年実施している「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果について、北海道がまとめる報告書に掲載して良いか伺うもの。なお、議案に添付している資料は昨年度の結果であり、掲載する際のイメージとして参照いただきたい。また、次回の会議において本年の分析結果をお知らせする予定。

○中峰教育長

本年度の結果は昨年度と大きな変化はない。全国の平均値より少し低い状況。北海道大学大学院の崎田淳教授からは「あくまで実施した種目に限った結果にすぎず、調査項目や内容についても検討を加える必要があるのでは」といった趣旨のコメントをいただいている。単に、データとしての結果にとらわれず、体力向上を進めていく考えである。

※ 議案第35号 了承

○中峰教育長

議案第36号 令和元年度士別市教育委員会補正予算について説明を求める。

○大留管理監

今年度末で閉校する多寄中学校に設置している火災報知器や機械警備の操作盤を多寄小学校に移設し、小学校側で一元管理するもの。見積もりを依頼した業者から「工期は3か月ほど必要」と聞いている。今回の補正額は前払い金相当分のみであり、残りの額は債務負担行為し令和2年度に支出する。

○中峰教育長

4月1日から多寄小学校側で操作できるようにすべきではないか。可能な限り早期の施工が必要。対応策は検討したのか。

○五十嵐職務代理者

中学校のどの部分を小学校が使用するのか。

○須藤課長

音楽室、家庭科室、パソコン教室など特別教室は全て使用する予定。年度内は中学校として使用するため、どうしても3月中旬に工事を終わらせることは不可能である。

○加藤委員

3か月程度の工期は当然必要な工事だと考える。

○五十嵐職務代理者

移設ではなく新しく設置できないのか。

○加藤委員

補正予算の額では不可能。頻繁に交換するようなものではないので高価である。

○中峰教育長

体育館に設置する分だけで3千万円くらいかかる場合もある。

○五十嵐職務代理者

日常的に中学校側の校舎を使用してはどうか。

○中峰教育長

検討はしたが、全面的に小学校を移転するには、改修費を含め多額の費用が必要となるなど、現状を基本とすることが望ましいとの結論に至っている。職員室が2階にあるという事も使用しづらい点である。

※ 議案第36号 了承

2 事務局からの情報提供

○鴻野部長

部の運営方針として社会教育施設の管理運営のあり方を検討してきた。具体的にはホールの運営委託や人材のあり方、財政の面なども考慮し、社会教育施設の開館時間を見直すことにした。貸館の状況を過去3年にわたり分析したところ、いぶきでは夜10時まで使用されることが多いのに対し、文化センターでは夜9時以降の使用は極めて限られていることがわかった。なかには、「開いているから使う」という利用も考えられるなかで、文化センターについては原則夜9時で閉館することにした。なお、博物館のあり方については引き続き検討していく。今後については、文化センターの開館時間の変更について、市の広報などで周知していく。また、指定管理に移行するサンライズホールについては、使用申請がない場合は夜7時で閉館するものとし、委託料の積算にも反映させているところ。

○中峰教育長

文化センターの開館時間は朝9時から夜9時までとする。なお、災害などにより避難所として使用する場合は、もちろんこの時間によらない。

○千葉館長

夜9時以降、恒常的に使用しているのは2団体である。このうち運転免許更新講習については、来年度の予定を確認した際に開館時間の変更を打診したところ、終了時刻を8時に前倒ししていただけることになった。もう一つの団体にも事情を説明し、了解いただいた。恒常的に使用していない団体にも協力を依頼している。

○中峰教育長

閉館時間の繰り上げによって100万円以上の経費節減を見込んでいる。今後、議会などにも説明していく。

3 その他

卒業式の日程について

当面する今後の日程について

鴻野部長説明。

午後4時50分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者 中峰 寿彰

会議録調整者 須藤 友章